

4月9日から12日にかけて日本海ダクト発生によるオープンが確認されました。

**4月9日のダクト発生域（推定）**



ダクト発生による9-8エリア間オープン状態が確認されました。  
カーナビ地デジTVにて、石川県～北海道までを綺麗に受信！

**4月10日のダクト発生域（推定）**



ダクト発生による9-0エリア間オープン状態が確認されました。

午前中(残業調整で午後出社)長岡市西山林道にて、石川県の地デジTVが明瞭に受信でき、ハンディ機で高岡市のレピータにアクセスできたことを確認しました。

夕方以降の運用はせず夜間のオープンは未確認。

また、具体的なオープン情報については確認していません。

## 4月12日のダクト発生域（推定）



ダクト発生による  
9～0エリア間オープンを確認しました

ダクト発生による9～0エリア間オープン状態が確認されました。

### 【4月9日の実況・解析結果・考察】

日本付近は高気圧に広く覆われました。地上天気図では東日本と黄海の高気圧が帯状となって日本付近を覆いました。

850hpa 面では日本付近は 1,500m の等高度線で囲まれた高気圧領域。

500hpa 面では日本海に 5,700m 等高度線が走っていてリッジと負渦度領域。いずれも高度は上昇傾向。

850hpa 面には乾燥空気が流れ込んでいて湿数 10°C 以上で 9°C の等温線は日本海を広く覆っています。

上空の気温も上昇していて逆転層が形成されやすくなっています。

日本付近は広い範囲で晴天域に覆われていて、日中の気温は 20 度を上回るほどに上昇しました。

このような状態のなかで、カーナビ TV 受信から石川県、北海道の TV が明瞭に受信できる状態で、広範囲に渡ってダクト発生によるオープン状態であったものと推定します。

### 【4月10日の実況・解析結果・考察】

日本付近は帯状の高気圧と晴天域に覆われています。

850hpa 面では 1,500m の等高度線で囲まれた領域に広く覆われています。

500hpa 面では日本海がリッジとなっていて負渦度領域に覆われています。

北日本は上昇流域の中ですが、あたたかい空気の流れ込みによる膨張のために発生していると推定し、天気の崩れによるものではないと考えます。

以上から、ダクト発生条件はそろいやすかったと推定します。

### 【4月11日の実況・解析結果・考察】

日本付近は引き続き高気圧に覆われて暑くなりました。三重県亀田市では最高気温が 29.9 度を記録。各地で 25 度を超える夏日となりました。（アメダス気温全国図参照）

日中かぐらスキー場でボードをしていたら、1,000m 付近を境に上空に透き通った空気、下層はもやった空気が成層を形成していたことを確認しました。（写真参照）

日本海には濃霧注意報が発令中で、秋田沖や佐渡・能登沖には東から西に向かって移動する海上の霧が衛星画像からも確認できます。

500hpa 面から日本海にリッジと負渦度領域、850hpa 面では日本付近に 1,500m の等高度線で囲まれた高気圧圏内の広がり解析できます。

日本海には 700hpa 面の上昇流域が広がっていますが、暖気移流による大気の膨張が影響しているものと推定します。

以上からダクト発生条件はそろいやすかったものと考えます。

移動運用は実施しませんでした。また、オープン情報は JM7BWU 佐々木さんから「オープンしているらしい」という情報のみで、具体的な交信情報は確認していません。

### 【4月12日の実況・解析結果・考察】

日本付近は高気圧の勢力が弱まって大きく見ると気圧の谷の中に入ってきました。

500hpa 面、850hpa 面では日本付近はトラフとなっていて、正渦度領域に覆われています。

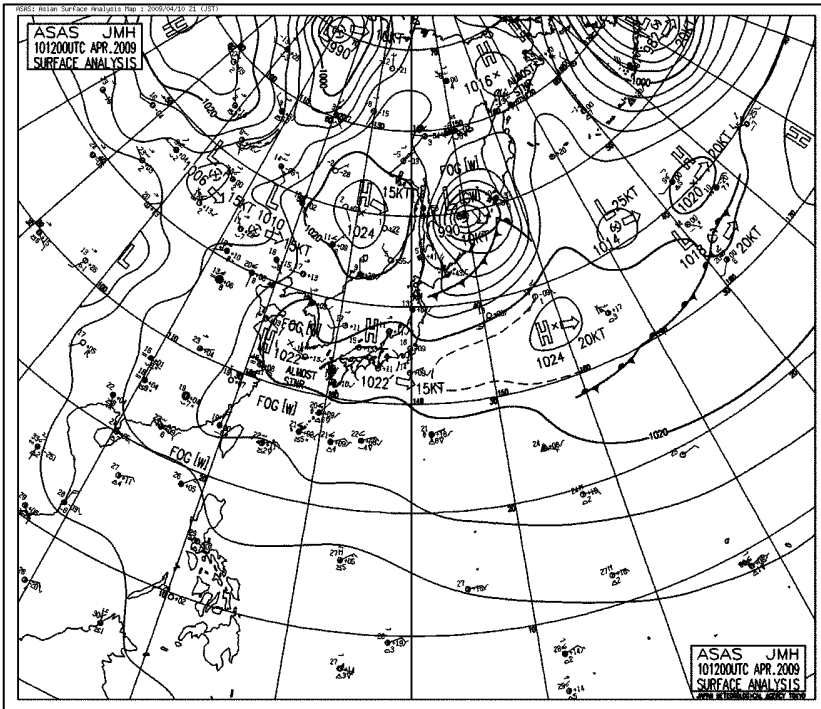
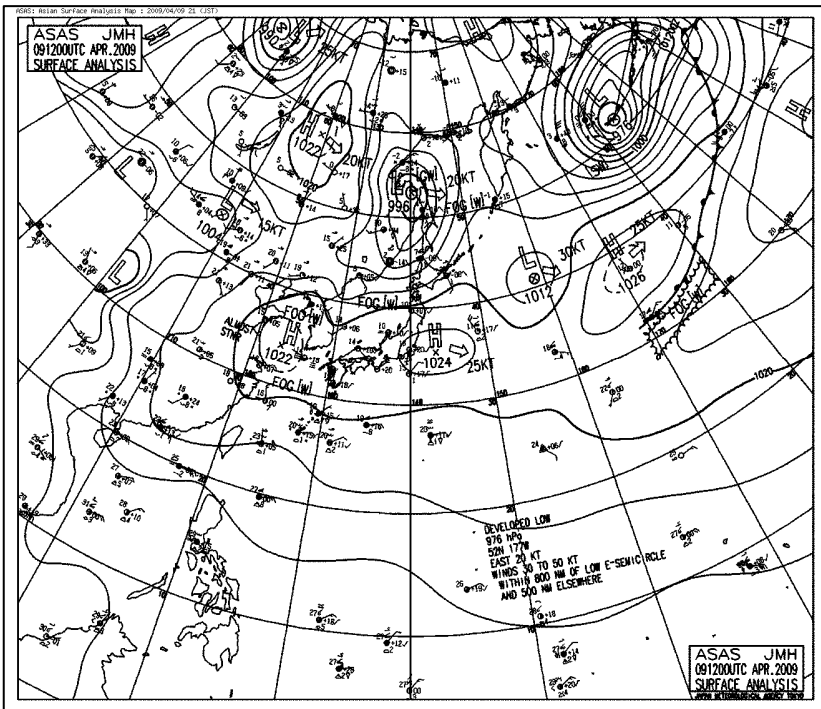
850hpa 面の 1,500m 等高度線は、日本のはるか南海上に後退しました。

これらに対応して、日本付近の広い範囲で上昇流域となっています。

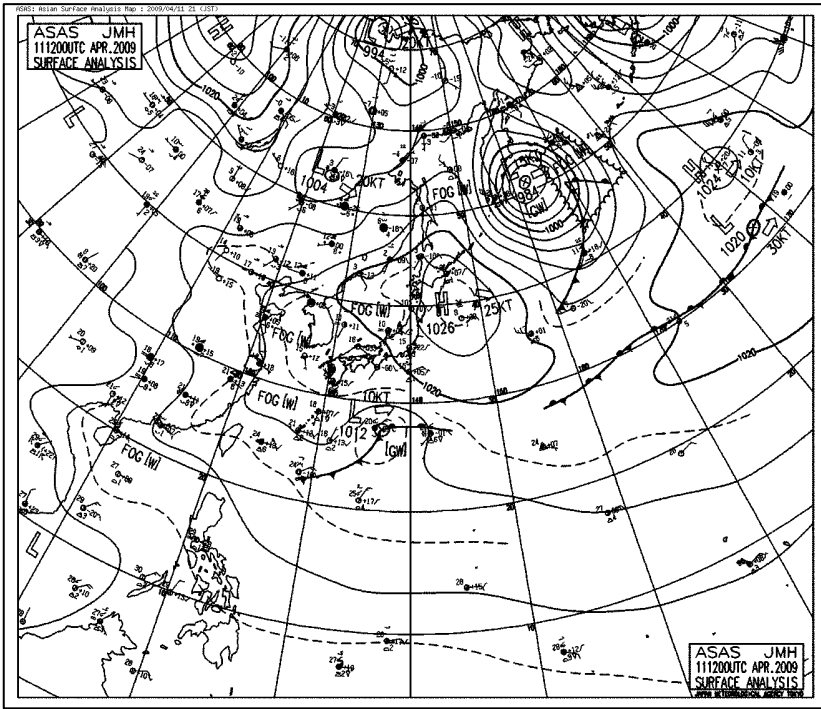
新潟県内は朝のうちは薄曇りでお昼過ぎからは晴れの天気となりました。

夕方近く、長岡市移動運用ポイントで地デジTVをチェック。今日も石川県のTVが良く見えてました。ハンディ機C501で439.60高岡市レピータ RS57。439.76氷見市レピータRS59で受信。

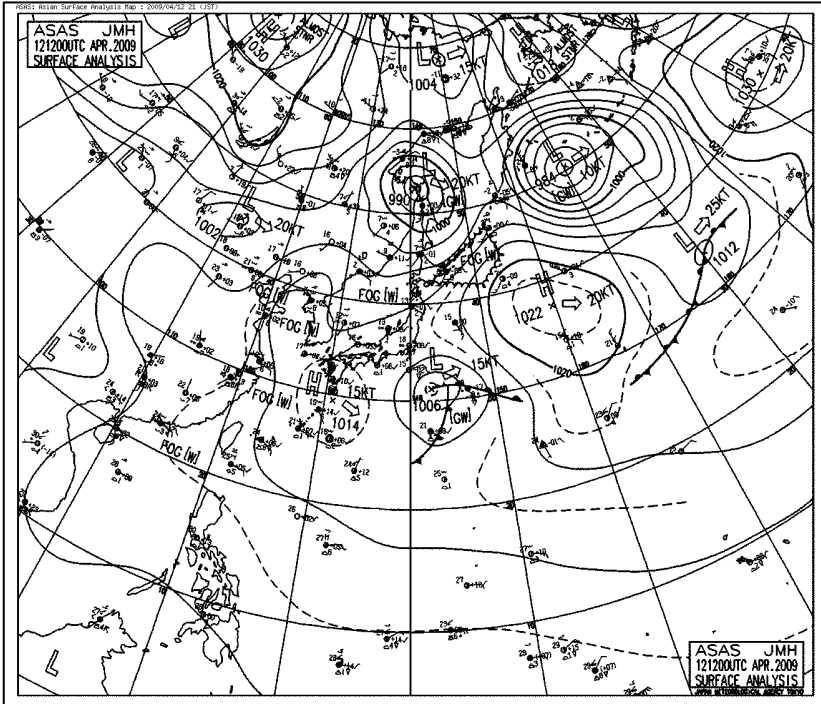
ダクトが出ていることは確認できましたが、ダクト発生域全体を特定するまでには至っていません。オープン情報は確認していません。



11日 21時

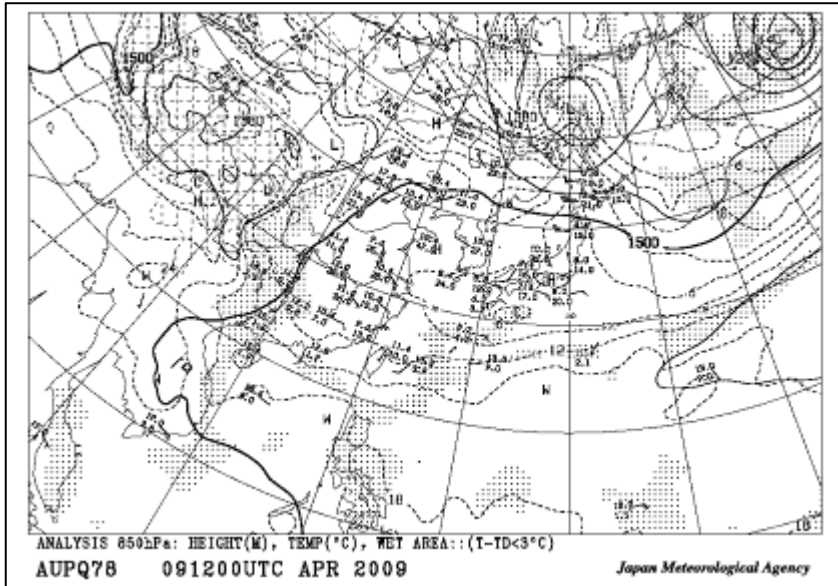


12日 21時

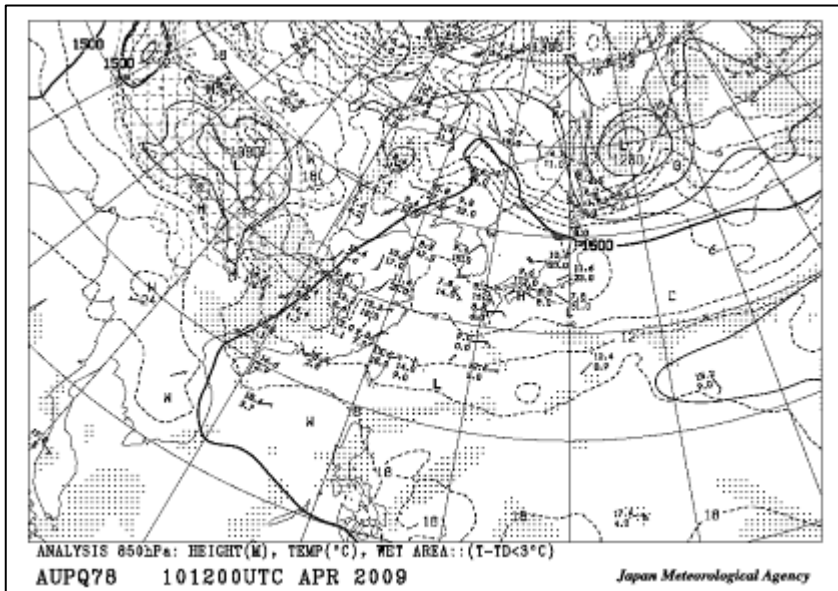


850hpa 面高度・気温・湿数

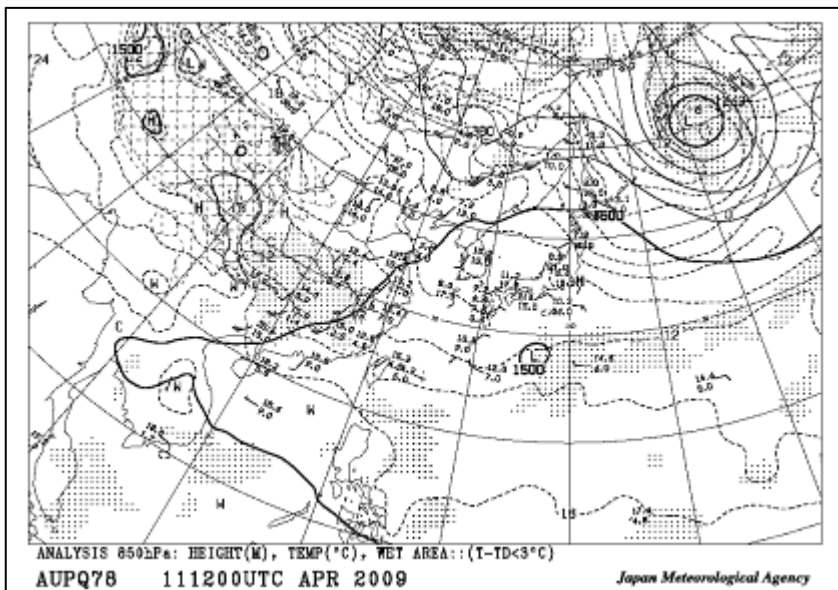
9日 21時

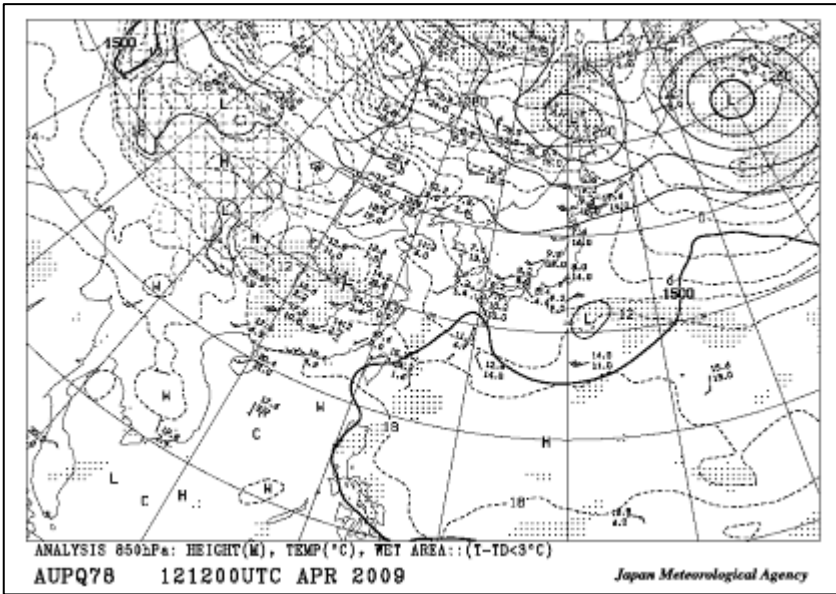


10日 21時

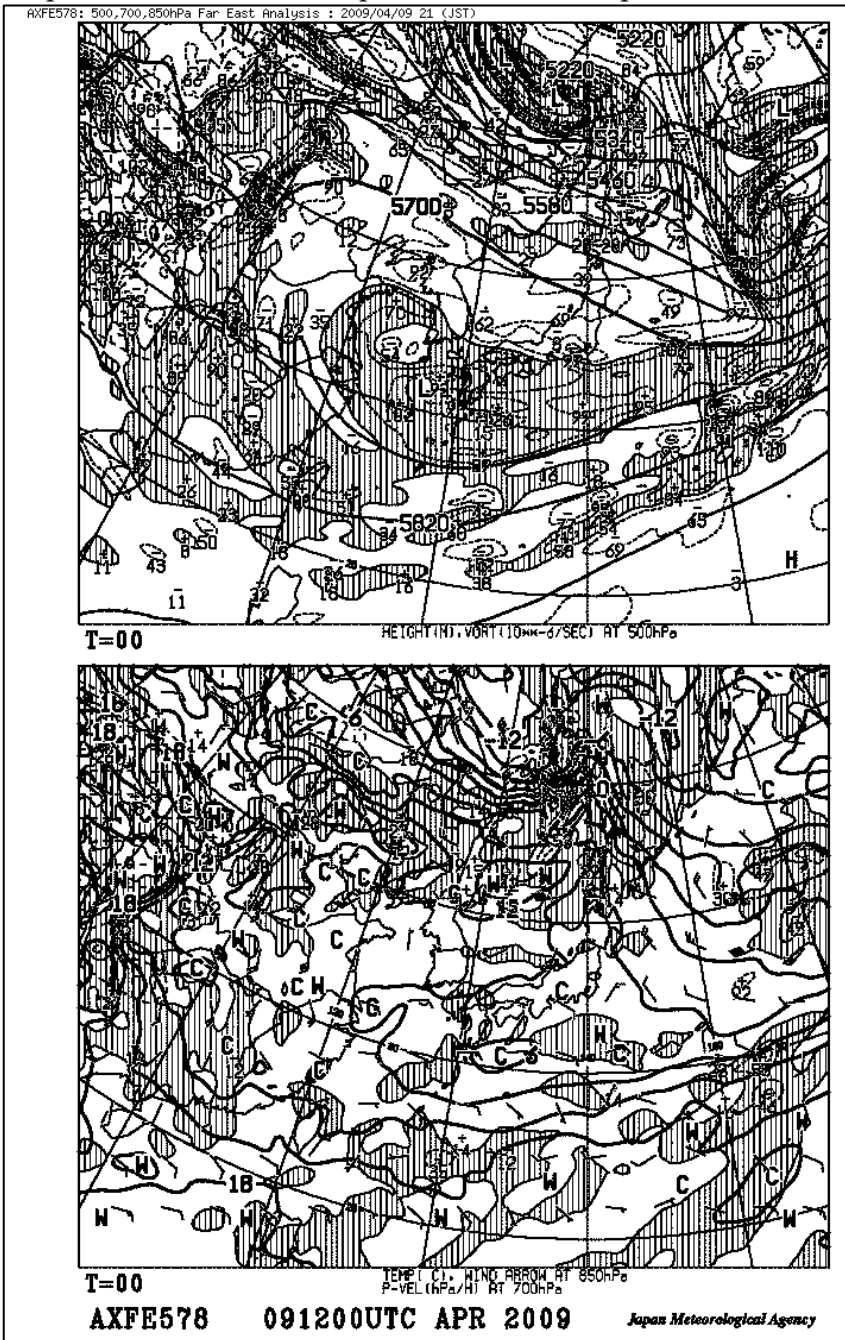


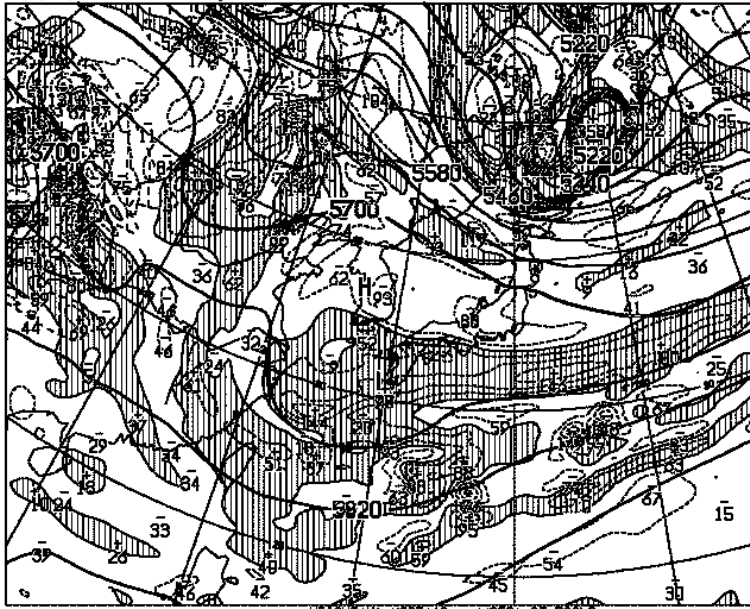
11日 21時





500hpa 面高度と渦度・700hpa 面鉛直流と 850hpa 面気温





T=00

HEIGHT (M), VORT (10<sup>-6</sup>/SEC) AT 500hPa



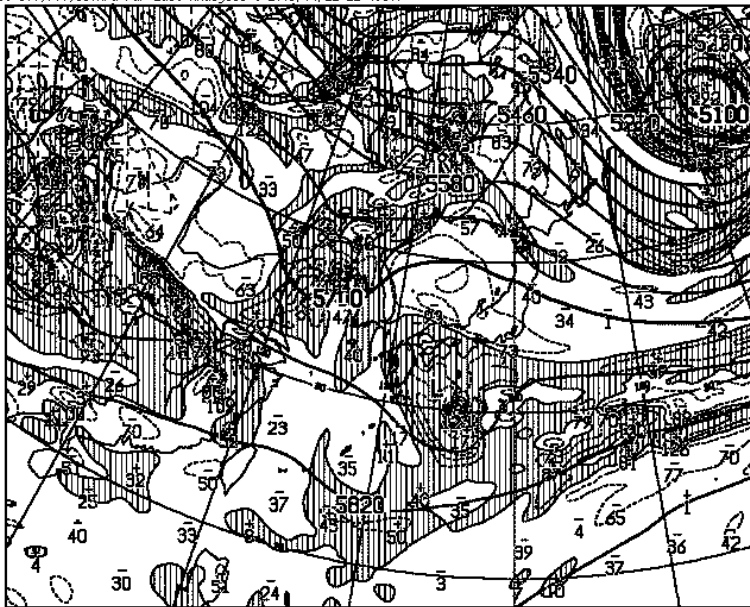
T=00

LEVEL (C), WIND VECTOR AT 850hPa  
P-VEL (hPa/h) AT 700hPa

AXFE578 101200UTC APR 2009

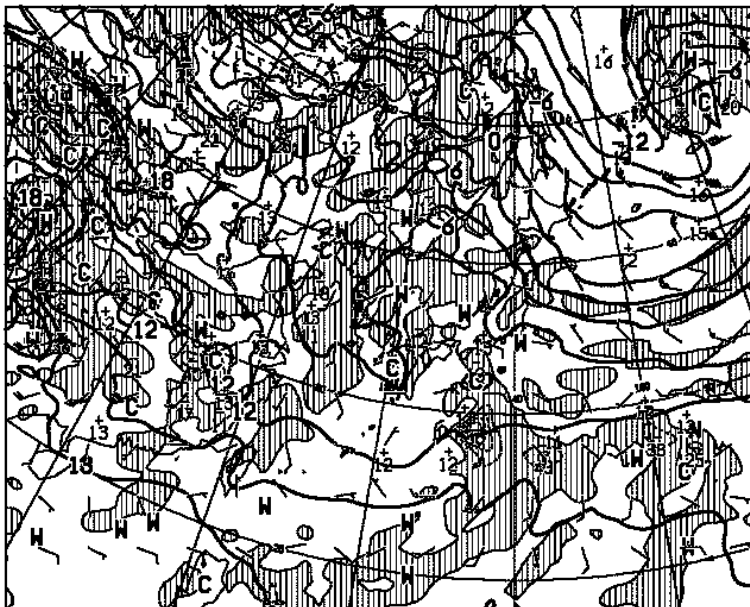
Japan Meteorological Agency





T=00

HEIGHT (M), VORT (10<sup>-6</sup>/SEC<sup>2</sup>) AT 500hPa



T=00

DIVERG (10<sup>-5</sup>/SEC) WIND VECTOR AT 850hPa  
DIVERG (10<sup>-5</sup>/SEC) AT 700hPa

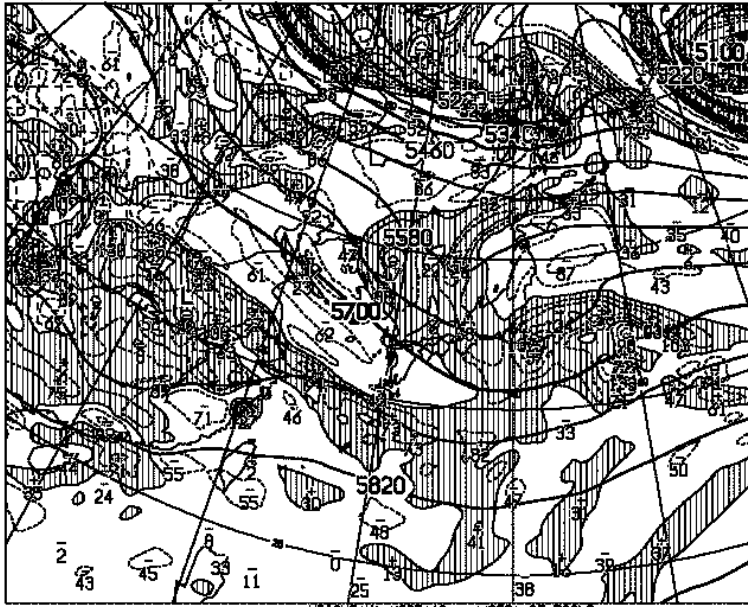
AXFE578

111200UTC APR 2009

Japan Meteorological Agency

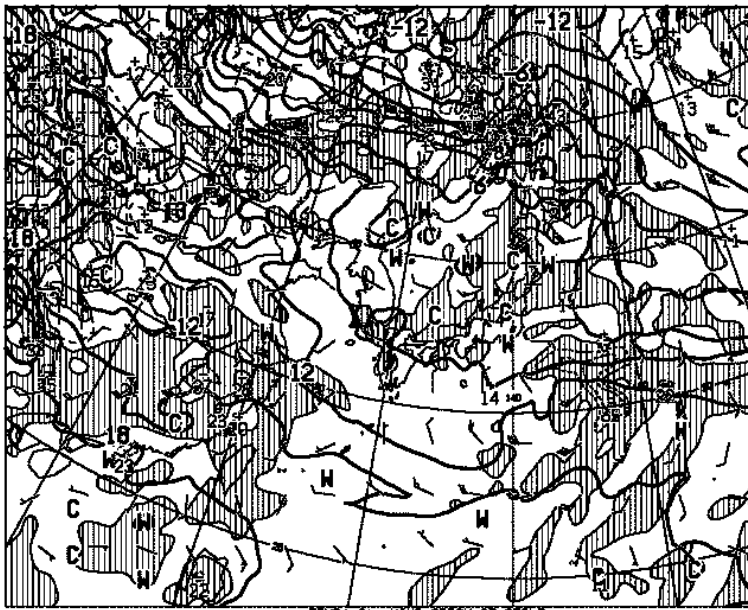
12日 21時

AXFE578: 500,700,850hPa Far East Analysis : 2009/04/12 21 (JST)



T=00

HEIGHT (M), VORT (10<sup>-3</sup>/SEC) AT 500hPa



T=00

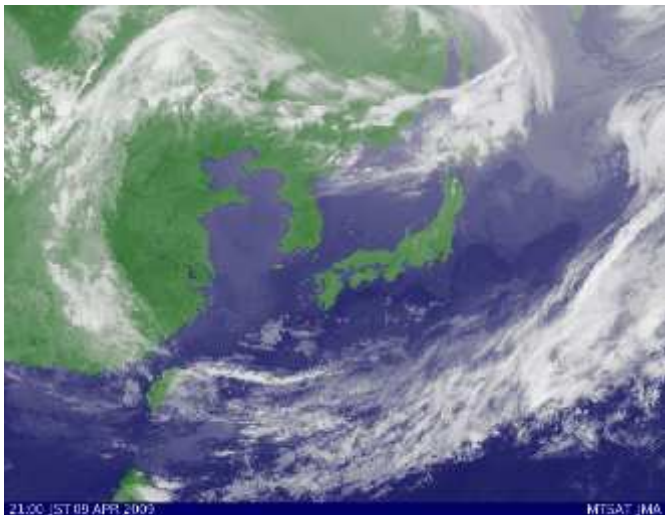
TEMP (C), WIND (KPH) AT 850hPa  
D-VEL (KPH/HR) AT 700hPa

AXFE578 121200UTC APR 2009

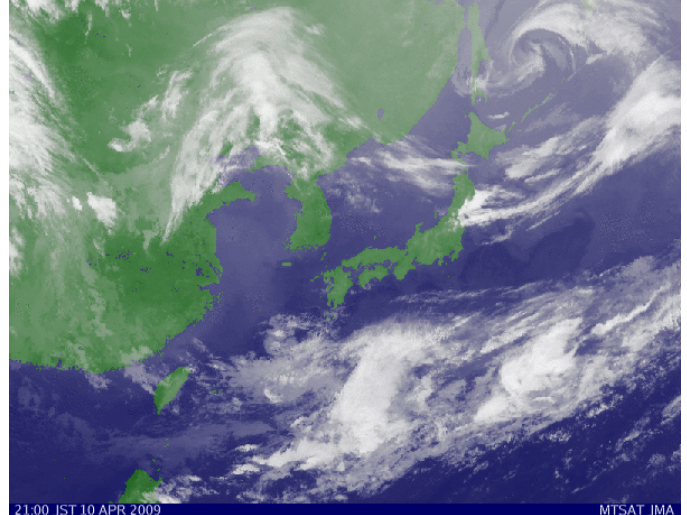
Japan Meteorological Agency

赤外線雲画像

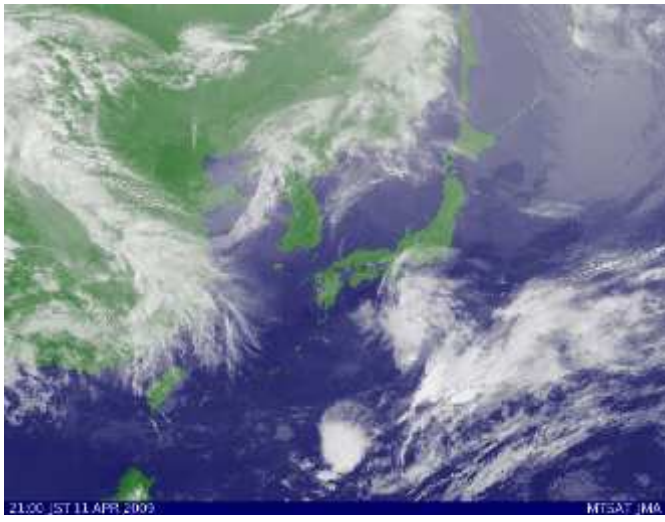
9日 21時



10日 21時



11 日 21 時



12 日 21 時

